

## 連携協定機関 芝浦工業大学様が施設を見学

7月5日、都産技研と協定を結んでいる学校法人芝浦工業大学材料工学科の学生20名が都産技研本部の施設見学に来られました。広報室による概要説明の後、無機分析実験室、造形室(3Dプリンター)、透過電子顕微鏡室、高電圧実験室、製品強度実験室などを見学。質疑応答では、研究員の1日のスケジュールや、使用する実験素材についての質問が飛び交いました。各実験室で熱心に説明を聞く見学者一人一人の真剣な眼差しが非常に印象的でした。今後も多くの学生に見学に来ていただいで、都産技研の施設や研究内容を知ってもらい、将来に役立てていただければと思います。



▲概要説明の様子



▲「スパーク放電発光分光分析装置」を説明する研究員

## 平成25年度 東京都異業種交流グループ発足

東京都異業種交流グループは、昭和59年から年度ごとにグループを形成し、本年度のグループを含め、25グループ、計380社となりました。都産技研は、各グループに対して定期的な会合や全グループが集まる合同交流会、共同研究開発、外部団体との連携などのさまざまな活動を支援しています。今年も、平成25年度東京都異業種交流グループが7月に新たに発足しました。会員は、本部が27名、多摩テクノプラザが23名となりました。グループ発足1年目は、都産技研がバックアップしながらグループ形成活動を行い、次年度からは自主的に運営していきます。参加者はやや緊張の面もちでしたが、今後の交流活動への期待を胸に膨らませていました。



▲本部での異業種交流グループ発足式の様子

## 「2013マイクロエレクトロニクスショー」に出展

6月5日～7日の3日間、東京ビッグサイトで行われた「2013マイクロエレクトロニクスショー」(「JPCA Show 2013」などが同時開催)のアカデミックプラザ内に、情報技術グループが出展いたしました。講演ブースでは、岡部研究員が「素子のバラツキを補正したFPGA向けタイミング検証手法」の論文を発表し、ブースでも研究内容のパネル展示や都産技研の紹介などを行いました。展示会は3日間総数で約3万5千人が来場し、アカデミックプラザでは研究に興味のあるお客さまが途切れなく質問に来られていました。



▲講演を行う岡部研究員



▲展示ブース

## 都産技研 夏の省エネ活動

都産技研では、6月3日から9月30日までの間、省エネ活動に取り組んでいます。具体的には、「空調温度を28℃に設定(温度管理が必要な場所を除く)」、「一部廊下や不使用場所、昼休み中の執務室の消灯」、「職員のクール・ビズ勤務」、「ブラインド、カーテン、ロールスクリーンの活用」など、無駄を排除しエネルギー効率を高める活動を継続して行っています。

また、平成23年10月に移転した都産技研本部には、さまざまな環境配慮技術が施されています。特に真夏の省エネ活動に効果的なのが、自律応答型調光ガラス※や屋上緑化・断熱材強化です。その他、清掃工場の廃熱を利用した「地域冷暖房システム」とも連動しながら、地域全体で省エネ活動に取り組んでいます。

※自律応答型調光ガラス：直射日光が当たって温度が上昇すると、自然に白濁して光や熱を遮り、室内の温度上昇を抑える特殊ガラス



▲自律応答型調光ガラス (本部)



▲屋上緑化でCO<sub>2</sub>削減に貢献 (多摩テクノプラザ)